

日中両国からの声 2024

～図書提供者、図書活用者～



目 次

◆日本の図書提供者からの声

立教女学院同窓会長	佐々 義子	3
-----------	-------	---

◆中国の図書活用者からの声

・浙江越秀外国语学院 読書会感想

浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	宋鑫鈴 (日本語原文)	4
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	陳炫羽 (日本語原文)	5
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	黃開開 (日本語原文)	5
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	金良禹 (日本語原文)	6
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	許賽紅 (日本語原文)	7
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	李佳慧 (日本語原文)	8
浙江越秀外国语学院 日本語専攻一年	周宣宇 (日本語原文)	9
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	孫晨晨 (日本語原文)	10
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	俞奕楠 (日本語原文)	11
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	王佳諾 (日本語原文)	11
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	李 政 (日本語原文)	12
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	王銳坤 (日本語原文)	14
浙江越秀外国语学院 日本語専攻三年	劇詩彤 (日本語原文)	15

・本を味わい日本を知る作文コンクール活動報告

浙江越秀外国语学院 図書館	17
---------------	----

◆中国における活用促進活動

1. 図書寄贈式	20
2. 読書会	22
3. SNSでオススメ寄贈図書の紹介 (4大学、23回)	
南京大学 日本語俱楽部 4回	24
浙江越秀外国语学院 図書館 4回	25
東北財経大学 図書館 3回	27

◆日本の図書提供者からの声

立教女学院同窓会長 佐々義子

立教女学院短期大学（1967年創立）は2020年に最後の卒業生を送り出し、閉学しました。今も活躍する多くの卒業生にとって、母校が閉学する寂しさとは大きく、中でも共に学んだ図書館の12万冊の図書の行方は卒業生の気がかりでした。立教大学など多くの学校図書館に引き継がれましたが、12万冊すべての行き先は決まりませんでした。このたび、そのうちの8万冊が浙江越州外国語学院で日本語を学ぶ学生たちに受け継がれることになったことは、多くの卒業生にとって大きな喜びとなりました。

6月1日に行われた寄贈図書の贈呈式のことを美しい紹興の街並みの写真と共に報告し、李館長をはじめとする皆さんのご配慮により、立教女学院短期大学の図書の為に新しい図書室・書架が用意され、ラベルが見えるように新しいラベルを貼られた本の並ぶ様子を見せると涙を流す卒業生も少なくありませんでした。また日本科学協会顧常務理事が、全集ものが多い図書の構成を崩さずに納めることができる、一か所の図書館を探されたことも私たちにとっては嬉しいことでした。

贈呈式に同行させて頂き、高橋会長をはじめとする日本科学協会の皆様が図書たちに新しい命を吹き込み、情熱をもって日中の懸け橋になってこられたことを強く感じました。このプロジェクトのさらなるご発展をお祈りしております。

◆中国の図書活用者からの声

エリックカールの動物散歩」感想文

浙江越秀外国语学院
日本語専攻三年
宋 鑑鈴
(日本語原文)

この本は、第一次、二次世界大戦間の生い立ちから現在にいたるまでの、筆者カールが日々の暮らしの中で出会った身近な動物たちのことを語る19の物語です。この本の前書きによると、カールがこの作品を書いた理由は、幼い頃にカールの絵本を楽しんで大人になった人たちから、もう少し年上の子どもや若者に向けた本を書いて欲しいという問い合わせに励されたから、だそうです。カールは動物が好きだった父親から、たくさんのこと学んだそうです。そのことを思い出し、この作品を創ったのです。そして、この作品は、カールの父親に捧げられています。

カールが書いたこれらの物語は、行間に家族や動物への愛が込められています。父親と散歩中に見たアリの巣や、おばあさんの家に行く途中でヤモリの尾が切れた跡を触ったことを見て、カールは自分の子供の頃のことを思い出しました。仕事が休みの日に、カールのお父さんはよく彼を連れて、ゆっくり長い散歩に出かけました。ある日、森と牧草地のあいだで、アリ塚を見つけました。そうっと手をふれると、アリたちがいっせいに出てきて、巣を守ろうと右往左往し、せっせと巣を修理します。そのままを、彼らはじいっと観察しました。そして、「あの大きなカシの木の根元にある穴を見てごらん。」と、お父さんは指さしました。カールは、お父さんの手につかまっていました。その時のお父さんの手の感触や形を、そして手の甲に生えていた毛や青くうき出た血管、手入れのいき届いた爪の根元にあった半月形の白い部分までを、カールは今も覚えている、と書いていました。

これらの物語を読んで、私もカールに共感しました。私も多くの記憶が蘇ってきました。両親は仕事が忙しいので、小さい頃は祖父の家に住んでいました。祖父の家から歩いて20分ほどのところに、ハスの花畠がありました。夏になると、祖父はいつも私をそこに連れて行って蓮の実を摘んで食べていました。ハス畠の上空を多くのトンボが飛び交うのを見ることができました。ある日、突然ひどい雨が降り始めた時、祖父は大きなハスの葉を取って、傘の代わりに私の頭にかけました。そして、私の手を引いて走って家に戻りました。

私も生活の中の小さな自然を愛しています。例えば、一緒に暮らした子猫とカメのことを覚えています。そして、道端にしゃがんでアリを見て時間を忘れたことも覚えています。私はこの本に書かれた戦争を経験したことはありませんが、彼が書いた感情はすべて理解することができます。自然と触れ合った記憶はいつも深いです。動物とは言語でコミュニケーションすることはできませんが、それらと繋がることはできます。動物から学ぶことが多いと思います。そして、家族と過ごす時間はとても貴重です。私を読みながらこれらのこと再認識しました。だから、私はこの本を読むことができてとても楽しく感じました。ほかのみなさんも、機会があればこの本を読んでみて、自然と付き合う時の楽しさを感じてほしいと思います。

「スマホ中毒症」感想文

浙江越秀外国語学院
日本語専攻三年
陳炫羽
(日本語原文)

皆さん、こんにちは。今日ご紹介する本は、志村史夫さんの「スマホ中毒症」21世紀のアヘンから身を守る21の方法です。本書では、半導体研究のトップランナーとして日本、企業で研究を続け、ITを知り尽くした物理学者が、中高年にとて本当に必要なIT機器と、スマホに依存しすぎない“智恵のある少欲知足”的生活をおくる方法を紹介します。その名の通り、アヘンは人の精神を麻痺させ、中毒を続ける麻薬であり、作者は携帯電話などの電子製品をアヘンに例えたことからも、作者の憎しみがうかがえます。

私はかつてネット上で、清朝末期にアヘンを吸って横になっている人と、今はソファーに横になってスマホをしている私たちを比較する写真を見たことがあります。いろいろ考えさせられます。科学技術の発展に伴い、スマホの機能はますます豊富になっているので、人々はショッピング、テイクアウト、情報検索などの多くの機能を実現することができます、人々の欲望を満たし、ペースの速い生活の中で貴重な時間を大幅に節約しました。ショートビデオの台頭により、人々はスマホのメリットに溺れてしまいます。

私自身を例にとると、日本語を勉強する前にビデオを見てリラックスしたいと思っていますが、ビデオを見ていると止まらず、あと五分待ってから10分待っていると、いつの間にか1時間が過ぎてしまい、スマホを見てはいけないと後悔し始めます。

スマホは知らないうちに私たちの意識を麻痺させ、私の時間を消費し、これは慢性毒のように私たちの生活を徐々に浸食してきます。体へのダメージはもちろん、視力の低下、頸椎の損傷、睡眠の質の低下を引き起こすなどことがあります。精神的にも深刻な被害を残します。授業中は注意力が散漫で、スマホに触らないと安心感がないような気がします。徐々に独立して深く考える能力を失い、授業中に先生が出した宿題は、最初のステップは自分で考えるのではなく、人工知能を利用して調べることです。ネット詐欺の事例が続出し、毎月の安全クラス会が通報するケースが多い。

では、現代生活でスマホをよりよく使うにはどうすればいいのでしょうか。以下の点があると思います。自分を邪魔するアプリをアンインストールします。学習を開始する前に、自分の今日の任務を箇条書きにし、自分に任務奨励メカニズムを実行する。学習時にスマホをスクランブルモードにして外乱を減らす。週末は運動や会食を利用してスマホへの注意力を減らすことができます。

スマホを自分の所有者にするのではなく、スマホの所有者になってほしい。

「なかなかいい生き方」感想文

浙江越秀外国語学院
日本語専攻三年
黄開開
(日本語原文)

「なかなかいい生き方」は平岩弓枝先生の日常についてのエッセイ集です。ゆったりと

した生活リズムの中で、平岩弓枝先生は、生活の中に隠された細かな部分や、その裏側にある喜怒哀楽を掘り起こしていくのです。そうした生活の些細なことから、過去や歴史、あるいは他者の見方へと発想を広げていくのです。エッセイ集のストーリーは長くはありませんが多いです。猫を飼っている「花子さん」、懐かしい先輩作家、旅先で出会った楽しい出来事を人々と語り、日本の風習や文化への嘆きなど、平岩弓枝先生は淡々とした口調でその内面や生き方を語ってくれました。

この本の中のすべての話は長くありませんが、私の日本語のレベルが限られているので、私はこの本を完全に熟知していません。それでも、その背景には作者である平岩弓枝先生の心情や人生観が感じられました。この本を読んで最初に思ったのは、平岩弓枝先生はポジティブな方だな、ということでした。身近な家族や友人がつらい病気についても、それに対して悲観的な態度を示すことはありません。苦痛の嵐の中で未来の快晴を願っています。先行きが不透明な劇場に対しても、視点を変えて新しい経営スタイルを模索している劇場が再生してくれることを願っています。苦しみを伴う生活に直面して、少しずつ気持ちを切り替えていくことはできますが、うまくいかない現実を受け入れるだけで、その後に何かいいことがあるのではないかと期待することはできません。そう思うと、実は私は消極主義者です。まだ終わっていないことでも、悪いほうに考えてしまうことがあります。試験のとき、前半で迷っていれば、後半の試験用紙を書くときには、最初のつもりはなくなります。試験が終わっていなくとも、頭の中はもうダメだ、ダメだという思いでいっぱいです。気持ちをリセットして期待するどころか、何も考えないようにするのも大変です。だから私は、平岩弓枝先生のその安定した積極的な生き方に感心する一方で、その生き方に憧れてもいました。嫌なことが起こるのは避けられないことですが、いずれにしても転機を期待する権利はあります。日常を記録し、何気ない日常を吟味することで人と語る楽しさや、その裏側にある歴史も、心を養う要素の一つではないでしょうか。どんなことでも許され、たとえ良くないことでも、目の前にいる人やものを見て、記録できること、考えられることは数えきれないほどあります。平岩弓枝先生の物語は、淡々としたトーンで語られることが多いのですが、その背景には常に過去を考え、現在を楽しみ、未来を望んでいることがあります。

以上が私の感想ですが、何か間違った理解や失礼があれば、申し訳ありません。ご静聴ありがとうございます。

「レキシントンの幽霊」感想文

浙江越秀外国语学院
日本語専攻三年
金 良禹
(日本語原文)

図書会の皆さん、こんにちは。私はきんりょううと申します。今回読んで皆さんに紹介したい本は村上春樹が書いた「レクシントンの幽霊」です。

「レクシントンの幽霊」は短編小説集で、総計7篇の短編小説があります。名前はそれぞれ「レキシントンの幽霊」、「緑色の獣」、「沈黙」、「氷男」、「トニー滝谷」、「七番目の男」、「めくらやなぎと、眠る女」です。これらの小説は大体孤独や暴力と恐怖をテーマにしています。その中で私が一番好きなのは「レキシントンの幽霊」と「沈黙」です。

「レキシントンの幽霊」が話しているのは、「私」がアメリカでケイシーという建築家と知り合いました。ケイシーは彼のルムーメイトと一緒に生活しています。彼はスマートでユーモアのあるおしゃれな人ですが、仕事に対するにはあまり気を使わないです。ある日ケイシーは「私」に留守番を頼みました。留守番の時、彼の家で「私」は幽霊を見ました。留守番が終わった後、「私」は小説の創作で半年ぐらいケイシーと合わないとしました。ケイシーのルムーメイトも田舎に帰りました。半年後のある日、「私」は散歩しているうちにケイシーに会って一緒にコーヒーを飲みに行きました。半年ぶりのケイシーはまるで十歳も年をとったみたいです。

私が本を読んでいる時、ずっと考えていました。なんでケイシーは半年ぐらいの時間でこんなに大きく変化があるのでしょうか。再び読む時、私は気付きました。アメリカ人のケイシーは留守番を日本人の私に頼って、それに「悪いけれど、きみしかおもいつけなかったんだ」という言葉をいましたから、多分ケイシーはあまり信頼できる人はいないかもしれません。親がなくて、ルムーメイトは田舎に帰えて、信頼できる友人は仕事でお互いの交流がだんだん少なくなりました。多分ケイシーは孤独に傷つけられただろうと思います。

本を読み終わった後、私は日本の評論家の川本三郎がこの本に対する評価をみました。川本三郎はこの短編集が孤独を愛している男たちの物語だと思っています、でも私はそう思えません。ケイシーは多分こんな孤独を愛していないはずです。でないと彼は10歳も年を取ったみたいにはなれません。

村上春樹は「沈黙」でこう書きました「一言で孤独を言つてもそこにはいろんな種類の孤独があります。神経を切り裂く辛く悲しい孤独もあります。でもそうじゃない孤独もあります。そういう物を得るためにには自分の肉を削らなくてはなりません。」

ケイシーの孤独は神経を切り裂く辛く悲しい耐えられないほどの孤独でしょう。こんな孤独は人を傷つけるだけだと思います。無意味な孤独は害があります。でも人はいずれ孤独になります。だから私達が「沈黙」の中の孤独を受けるべきだとおもいます。自分の考えを持って世間の流れに乗らない、自分の信念を守る。そうすると無意味な孤独から逃げられると思います。

「宇宙で一番明るい屋根」感想文

浙江越秀外国语学院

日本語専攻三年

許 賽紅

(日本語原文)

今日私が紹介する本は「宇宙で一番明るい屋根」です。14歳のつばめ(清原果)は、父親の血のつながらない母親と3人暮らしです。親に子供ができたことによる疎外感とともに、幼なじみの大学生に恋をするようになります。ある日つばめは、唯一心を落ち着ける場所である書道教室の屋上で、スケートボードに乗って空を飛ぶ派手なおばあさんを見ました。つばめはその「星ばあ」と呼ばれる老婦人と恋愛や家庭のことを始めます.....

思春期は美しいサプライズで、自ら探索する必要があります。10代の私は、内向的で、臆病で、他人とコミュニケーションが苦手で、学校で授業中にもトイレに行きたくても手を挙げられず、授業の焦点になるのが怖いです。家では、私は自発的に両親と勉強や学校

のことを話さないので、何かあったら、引き下がることを選びます。だから、私たちには物語の中のおばあさんのような存在が必要です。おばあさんが言っていた「ずっと向き合いたくなかったことを、いつの間にか見逃してしまった」という言葉が印象に残っています。悪いことを言ってつばめをからかうが、とても優しくいろいろなことを教えてくれました。自分が第一歩を踏み出すことを学ばなければなりません。怖くても、失敗しても、自分で一歩を踏み出さなければ、何も始めません。

私も青少年で、恋愛に憧れ、結婚に憧れ、周りの人と同じように家庭を築き、幸せになりたいと願っていました。しかし、愛はエピソードであり、家族愛は基本です。高校の時、愛情の種が芽生え始めて、私の注意力はすべて勉強から離れて、成績もガタ落ちになりました。いつも自分で部屋の中に閉じこもって、両親を心配させます。ついに母はこの状況を破って、私の心の扉を開きました。その後、私は母が私の最も忠実な聴衆であり、私が迷っている時に私を照らす灯だということが分かりました。青春は美しい時間です。生活の中の些細なことを鑑賞することをマスターします。胸にしまっておかないで、勇気を持って大胆に自分の親に思いを伝えたり、好きな人と話したりしましょう。物語の中の主人公のように、自分がやりたいことをやって、結果が悪いことになることを怖がらないでください。びっくりするよりは嬉しいことが多いですね。この作品は心に響く作品です。この本を読んで私もたくさん成長しました。もし生活に困難があれば、この本を読んでほしいです。ツバメのように、静かな屋根を探して、また話せる人を探してください。

以上です。ご清聴ありがとうございました。次は質問時間です。何か質問があれば、言ってもいいです。

「装いコレクション」感想文

浙江越秀外国语学院

日本語専攻三年

李 佳慧

(日本語原文)

こんにちは、今日は中原淳一さんの装いコレクションをご紹介させていただきます。

みなさんは中原淳一さんをご存知ですか？この本に触れるまで中原淳一のことは何も知らなかつたのですが、ではなぜ私は中原淳一の本を選んだのでしょうか？この本の表紙がとてもきれいで、私を引きつけました。この本の表紙は、長いポニーテールをした女の子で、女の子は白いノースリーブのシャツに赤いハーフスカートを着ている。表紙の女の子は大きな目と長いまつげをしている。最初は中原淳一さんのことを見た女性だと思っていたのですが、人物紹介を見て初めて、中原淳一さんがなんと男性だったことを知りました。彼がデザインしたファッショントレンドは今でも非常に流行している。他の子供たちと違って、子供時代の中原淳一は、他の子供たちのように泥遊びをするのではなく、家の中でお姉さんと一緒に人形を編んだり、服を作ったりしていた。魯迅はかつて、ゲームは子供の最も正当な行為であり、おもちゃは子供の天使であると言ったことがある。女の子なら。人形が嫌いな人はあまりいません。ショーウィンドーの前を通りかかると、ショーウィンドーの奥に飾られた精巧な人形が目に入ります。あなたは足を止めて見つめていませんか？子供の頃、かわいい人形が遊んでくれなかつた。洗練された人形は私にとっては高望みのようなものだ。だから私は中原淳一がデザインした人形を見て、私の心の奥底

に一種のはっきりしない陰鬱と嫉妬と悲しみが芽生えました。中原淳一さんは小学生の時に父親を亡くしています。しかし中原淳一氏は、不幸に見舞われたからといって希望が消えたわけではない。むしろ、廃墟の中で新生を築いた。父が亡くなった後、中原淳一の母は近くの教会で生計を立てていた。教会でアメリカの女性が着ていた服に、中原淳一は絶えずインスピレーションを受けていた。中原淳一は西洋の服飾スタイルを着物に取り入れ、日本女性の服装スタイルに大きな影響を与えた。19歳の時、銀座松屋百貨店でフランス人形展に参加して有名になった。中原淳一がデザインするキャラクターは、大きな目に長いまつげがオードリーのヘプバーンらしいものが多い。衣装デザインから髪型、メイク、装飾、靴に至るまで非常に凝っています。きっと中原淳一さんの心は繊細で柔らかいのだと思います。それがあつてこそ、今に残る人形像をデザインすることができたのではないかだろうか。

私のお気に入りのイラストは、中原淳一さんがひまわり社でデザインしたひまわりです。満開のヒマワリの中に身を置き、少女は前を見据えていた。夏の盛りに旺盛な生命力を見せるヒマワリ。彼の作品は女性に自主性、自信、自己愛を教えてくれた。

「誰も教えてくれない人を動かす文章術」感想文

浙江越秀外国语学院
日本語専攻一年
周 宣宇
(日本語原文)

ついこの前、斎藤孝さんの著書「誰も教えてくれない人を動かす文章術」を読み上げました。もともと私は、日本語で何かを書くのに深い興味を持つようになったので、今回の活動がきっかけで、一見するだけでためらいなくこの本を選びました。文字通りに文章を書く技術を語る本として、とても退屈な感じを与えるかもしれません、実はなかなか面白いのです。ふだん人びとに嫌われる、よく疎かにされるような文章づくりを六つのテーマに分けて自らの考え、コツを完全に世に送りだすすてきな本だと、私はよくよく思います。

文書術を親切に、そして細かいところまでくり返して教えてくれる本は実にざらにあります。でもそれらの多くは、人目をはばからぬで言うと、たいてい「技術」そのものだけ、あるいはそれぞれのジャンルの書き方についてしか言ってくれませんでした。それだけでは足りないのは言うまでもありません。数学の上で公式さえ覚えればすべての質問を解けるのではないように、この本はおそらくことばの組み合わせによってこそ成り立つ文章のどん底に存在する、内面的なロジックというか、そのようなものをしっかり記しました。ひとつのことばとして特に頭に焼きつくのは、著者が学生に文章を習わせるために週に何回かエッセイを課した時の話でした。「学生たちは生活の中でこれ、発見にならなければという常に何かを掴もうという意識でものを見るようになりました」という。私自身としても「人はバカでなければならない」とかんがえました。というのは、この世にはつい見落とされがちなところがたくさんあるからです。人があまりにも頭がよければよいほど、その分相応のものを見失うわけなのだが、例えば、とてもむずかしくて成果が挙がるはずのない研究、頭がよい人は、まず前にある困難とかやり続けると必ず出てくる行き詰まりとか、いちいちリストアップし、それからそれらの分析過程を自分の頭のよい証しと

して顎を撫でながらすぐ捨ててしまいます。それが絶対だめなことなんです。もともと気つくべきはずのもの、役に立つかもしれないもの、もしリスク評価の精力を研究に一気に注いだらどうですか。

そのためには、どんな文章でもしっかりと意味を噛みしめるだけの顎をも鍛えなければなりません。えっと、大野晋さんも以前「日本語練習帳」にも書いてある「骨董の目利きになりたいなら、まず一流品を見ていかねばならない」、ちょっと記憶がぼんやりしていますが、だいたいこんな話です。最初からまず名文とされるものを見たほうがいいです。文学界で名だたる作家、10本の指を折っても数えきれませんね、夏目漱石、森鷗外、志賀直哉、谷崎潤一郎のような人の文章を見てほしいです。「他人の話を引用し、咀嚼し、文章化として定着させる」という流れで、文章を書きましょう。誰か一人の文章におぼれるのではなく、百人ぐらいの認識を内に住まわせることです。

「風をつむぐ少年」感想文

浙江越秀外国語学院
日本語専攻三年
孫 晨晨
(日本語原文)

ご在席の皆様、こんにちは。今日は『風をつむぐ少年』という本について私の考えを少し話したいと思います。

ある少年ブランドがパーティーで、好きな女の子に断られ、他の人にからかわれました。さらに、アルコールの影響と心の問題で車を運転して自殺を決意しました。結局、死ななかつたのですが、見ず知らずの女の子を死なせてしまったのでした。ブレントは未成年で無罪放免です。母親はリーを記念するために、アメリカの四隅に風になびく人形を作るよう彼に求めました。ブレントが人形を作っている間に出会った人や出来事、そしてその過程で自分を取り戻し、回復の旅に出るというストーリーです。

本書の描写を見る限り、作者はブランドのことを「いい人」だと思っているようです。しかし、「リー」から見れば、ブランドは完全な「悪人」です。李は最も罪のない最も不幸な人で、彼女は何もしないで、最も貴重な命を失いましたが、彼女の母親のブレントに対する要求のため、彼女は人形の形でこの世の他の不幸な人を癒して、ある角度から、彼女はまだ生きていて、人形の形で人々に記憶されています。

私はこの本からいくつかのことを学びました。1つめは、「良言のひとことは三冬の寒さも暖かく感じるし、ひどい言葉で傷つけられると6月の暑さも寒く感じる」ということです。ブランドさんの友人が、最初からブランドさんをからかわなければ、悲劇は起らなかつたかもしれません。2つ目は「おおらかに」生きることです。ブランドさんが最初から人のやじを気にしなければ、飲酒運転で「殺人犯」になることもなく、悲劇は起らなかつたでしょう。ご清聴ありがとうございました。

「銀の鈴」感想文

浙江越秀外國語学院
日本語専攻三年
俞 奕楠
(日本語原文)

日本の方々、学生と先生の皆様、おはようございます。今日は『銀の鈴』という本について私の考えを少し話したいと思います。この本は詩人相馬御風が書いた俳句と詩を記した詩集で、これらの詩句をよりよく理解するためのイラストが添えられています。この本について、二つの感想があります。まず、相馬御風の詩集を手に取るたび、心は静かに沈み、時には激昂の波を立てる。彼の作品は、独特の美意識と深遠な思考を織り交ぜ、読者を多彩な感情の世界に導きます。これらの詩では、ツバメやセミなど多くの季語を見ることができます。

そして、相馬さんは1つの季語について大衆とは異なる理解を持っているだろう。例えばツバメ、これはこの本の最初の詩で、日本ではツバメは一般的に春、夏の2つの季節を表し、春は万物が蘇ることを表し、夏は枝葉が茂り、どちらも生命力に富み、人に喜びの気持ちを与える季節であります。しかし相馬さんはこの詩の中でツバメがまだ帰ってこないことを何度も繰り返し、最後にツバメが冬を渡っていないのではないかと推測し、いつまでも帰り道に留ました。彼は自然の美を鋭く捕捉し、同時に、人生の真意を探求する。その中で、生命の尊厳、自然の神秘、愛の偉大さなど、さまざまの主題が詩行の間に浮かび上がります。詩集を通じて、御風は私たちに語るのは、日常の瑣事よりも高遠な世界の存在。彼の詩は、日常の煩わしさを洗浄し、心を澄み切らせる力を有する。

次に2点目をお話ししますが、詩は人々が1つのことについて自分で考え、推敲した後に書いたものなので、相馬さんの個人的な特徴を反映することができると思います。

相馬御風をご紹介します

相馬御風は1883年、新潟県西頸城郡糸魚川町大町（現糸魚川市）に生まれる高田中学（現新潟県立高田高等学校）を経て早稲田大学に進む。在学中の1903年に岩野泡鳴らと雑誌「白百合」を創刊した。1905年に第一歌集『睡蓮』を出版するが、同時代の窪田空穂や与謝野晶子に比べると歌人としては地味であった。

糸魚川市は山に面して海に面しており、古い翡翠の里であり、ここには非常に多くの観光地があり、地元の人々も自然と付き合うことが多い。だから私たちは相馬さんの詩に地味で自然に近い表現をたくさん見ることができます。

総じて、相馬御風の詩集は、一枚の精巧な宝石のように、光を放ち、人々の心を照らす。彼の作品は、永遠の美を追求する私たちに、賞の喜びと人生の啓示を与えます。以上が私の話したすべての内容です。ご清聴ありがとうございました。

『愚者の知恵』感想文

浙江越秀外國語学院
日本語専攻三年
王 佳諾
(日本語原文)

日本の方々、学生と先生の皆様、おはようございます。

今日は『愚者の知恵』という本について私の考えを少し話したいと思います。この本は異なる物語を語ることで考えさせられる道理を引き出しています。例えば第一章愚者の深い知恵、それは『伊万の馬鹿』の話をしています。この物語は、利己的な兄や悪魔の標的に直面しても、感謝し、まじめな仕事をし、人に誠実に対処することを続けているバカなイワンの話です。だから、悪魔は伊万の兄2人を家族全員を破壊することができたが、最後まで伊万の誠実さを負かすことはできませんでした。

著者はこの物語を通じて、愚かな人には愚かな幸せがあり、利己的な人には良い結果が得られないことを教えてくれました。物語の中の主人公イマンは、自分の得たものを2人の兄に全部贈与する愚かなようで、最初から最後まで争いません。しかし、これはバカイーワンの持つ大きな知恵です。本には「何しろ彼はバカですから、人にひどい仕打ちを受けても、初めから損得の感覚がないのです。」という言葉があり、印象に残っています。

「損得」は現代社会において重要な地位を持っています。私たちの日常生活では、ほとんどの人が利益の平等化を求めています。仕事面では、私たちは自分の給料が労働時間や成果に見合うことを追求しています。付き合いの中で、私たちはまた相手から自分が相手に与えたものと同じような世話を受けたいと思っています。だから、不公平な扱いを受けたとき、私たちは往々にしてイライラして、相手と口論しようとします。でも、これは無意味なことだと思います。私は生活の中で何かを得ることで失うことがあると思っているので、損得をあまり重要にする必要はないと思います。例えば、人付き合いの中で、私は友達にプレゼントをあげましたが、彼女は私にプレゼントをくれませんでした。もし私が、彼女がなぜ私にプレゼントをくれないのか悩んでいたら、私はこの関係の中で苦労して、それでお互いの感情を壊す可能性もあります。だから、生活の中で損得を薄めるほうが楽しく過ごせると思います。

物語の中で、イワンの2人の兄はすべてとても聰明で、自分のために利益を得ることができます。しかし、兄たちは利己的すぎて、欲望が大きすぎて、悪魔にチャンスを見つけてきました。エゴというのは、それほど恐ろしいものなのです。人生が辛いというのも、じつのところ、人生そのものに原因があるのではなく、エゴが人生を辛くしているのです。しかし、エゴがあらゆる不幸の原因と分かっていても、そのエゴを捨てることができないのが、私たち人間です。救いがたいまでの凡夫の愚かさです。社会の多くの兄弟が裏切り合っているのも、より多くの利益を得たいからだ。もしかしたらみんなが馬鹿なイワンのようにそれぞれ譲歩して、このようなことは起こらないと思います。

愚かに見える人もいるが、実は多くの知恵が秘められています。だから、生活には一人一人を尊重し、一人一人の知恵を学ぶ必要があると思います。以上が私が話したすべての内容です。ご清聴ありがとうございました。

「月刊言語2005年12月特集：日本人と日本語」感想文

浙江越秀外国语学院

日本語専攻三年

李政

(日本語原文)

検討会の皆様。おはようございます。私の名前は「りせい」です。今回のセミナーで私読んだ本は『月刊言語2005年12月特集：日本人と日本語』です。その本を読んだ後

の愚見を少々申します。

その月刊はくろしお出版で、文学的な書類です。でも、この月刊は文学性を失わないうちに、娯楽性を持っています。巻頭エッセイと特集の部分の知識が興味深い豆知識だと思っています。そして連載の部分の文章はロジックが分かりやすくて科学的根拠に豊です。

この月刊は初心者でも楽しい読むことができます。もっと多い人を日本語や日本文化に興味を生むでしょう。

本の中に趣を持つところを紹介させていただきます。

先ずは巻頭エッセイ部分です。『“野球”の名付け親は誰?』の一文は先頭で私の目を引きました。「『野球』は『ベースボール』、中国語で『棒球』だ」と日本語の先生が教えてくれましたが。実はどうして日本語では『棒球』が『野球』を話すのは一度も考えませんでした。ベースボールが西方のスポーツですか、もちろん「ベースボール」の名前が先に出るはずです。では、「野球」の名前は日本人が作り出すものです。

一体誰がその名付けの親でしょうか?その疑問を持て、續を見ると「ベースボールを『野球』と名付けたのは正岡子規だとガセだ」を見ました。その時は疑問を解かずのうちにもっと多くの疑問が増えています。もちろん、その点も作者のデサイーです。そして見に續くと疑問は次第で解ける時すでに全文を大体見ました。文章の最後は疑問を解答しました。「子規説」が流言で押し広げて豆知識として人々の意識に根強く生き残っています。実際の名付けの親は旧制一高ベースボール部の中馬庚です。

このエッセイコーナーの趣は初心者としても楽しい最後まで見ると知識を得ることだと思っています。

検討会の皆様、おはようございます。私の名前はりせいと申します。このセミナーに参加し、私自身が読んでいただいた書籍は『月刊言語 2005年12月号特集：日本人と日本語』でございます。その本を通して得られた拙見を、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

この月刊はくろしお出版から発行された、文学的な価値を持ちながらも娯楽性を失うことなく、読者を魅了する書籍です。特に巻頭のエッセイと特集の部分には、興味深い豆知識が詰まっており、連載の文章もロジックが明確で、科学的根拠に基づいた内容となっております。

この月刊は初心者の方でも楽しんで読むことができ、日本語や日本文化に対する興味を広げることができます。

さて、本の中で特に興味を持った箇所を紹介させていただきます。

まず、巻頭のエッセイ部分です。『「野球」の名付け親は誰?』という一文が、私の興味を引きました。「『野球』は『ベースボール』、中国語で『棒球』」と日本語の先生が教えてくれたことを思い出しましたが、なぜ日本語では『野球』と呼ぶのか、その理由について一度も考えなかったことを自覚しました。西方のスポーツであるベースボールは、当然「ベースボール」という名前が先に出るべきだと思いました。しかし、なぜ「野球」と呼ぶのか、その謎を解くためにも、このエッセイを読んでみました。

「ベースボールを『野球』と名付けたのは正岡子規だとか」との説が流布されているが、その説が正しいかどうか、疑問を持って読み進めていきました。しかし、その疑問は次第に解けていくうちに、多くの新たな疑問が生まれる一方でした。著者の意図としては、そのような疑問を呼び起こすことだったのでしょうか。そして、文章を最後まで読むと、疑問が解け、興味深い事実が明らかになります。「子規説」は流言であり、実際には旧制一高のベースボール部員である中馬庚さんが名付け親であることが判明しました。

このエッセイコーナーは、初心者の方でも最後まで楽しんで読むことができ、知識を得ることができると感じました。

そして、この月刊には文学性もございます。連載部分はロジックが鮮明で、根拠もはつきりと記録されています。私が興味を持っておりました一文は「手話の言語学」です。今学期には異文化コミュニケーションの授業があり、その授業のゼミの一つが「手話」です。ゼミを準備する際に「手話は別の国によって異なる」と知りました。

その文章では手話の語彙の特徴や、それぞれ異なる範囲内で同じ身振りでも意味が異なるという特例、そしてなぜそのような身振りを選んだのかという思考回路についての内容がございます。読むにつれて、実学になりました。さらに、例えが分かりやすく、写真も添付されている点は非常に貴重だと存じ上げております。

この月刊は、おもしろさを失わずに文学性を有し、誰もが楽しむことができる作品だと存じ上げております。

「少年少女の名作案内」感想文

浙江越秀外国语学院

日本語専攻三年

王 銳坤

(日本語原文)

日本の方々、学生と先生の皆様、おはようございます。

今日、私は「少年少女の名作案内」日本の文学ファンタジー編について少しお話したいと思います。この本の内容は殆ど作品の紹介と編著者たちのコメント、注釈なので、そういう文章の構成についてお話しするほうがいいと思います。

最初に目に入ったのはそのファンタジー作品の発展の道程です。最初の「お伽噺」から大正時代の「童話」に変えて、実際この部分読んでいる時、「本当に凄いな、もう宇宙と地獄を素材としたか」と思いました。1950後半は、長編ファンタジーと幼年向けの作品が相次いで出てきました。そして、1960年代以降、人達はファンタジーの領域の潜在力を求め、百花齊放の時代が迎えてきました。その後、完璧に目指して、手間をかけて、挿絵とか表紙絵なども作品に加えて、作品を一層面白くしました。この本のなかで絵はないのは少し残念でした。そして、最後の80年代から現在に至るまで、角野栄子の有名な作品「魔女の宅急便」もこの時期の作品です。今、豊かな基盤を持つ作家たちは更なる構想を考え、その領域を拡大し続けています。

この本は紹介を四つの部分に分け、タイトルをつけて各作品を紹介しています。一つの文章には概ね、書名の下の誘導文、編著者が本に対するまとめ、作者の創作背景と理念、編著者のコメント、作品や作者などについての注釈五つの内容です。

そういう紹介方は確かに案内役を果たしています。紹介文は詳しさを求めるではなく、その作品について全面的な情報が欲しいのです。そして、本の表紙もなかなか凄いと思います。表紙は全部書名で構成されて、一目で「これは作品を紹介の本だ」と分かります。それに、そうすることで、全部の作品が等しい立場に置かれ、編著者がどの作品を最優先していることもありません。でも、全書の一番いいところはやはりファンタジー作品の歴史を述べてから、いちいち4部分に分けて内容を紹介することだと思います。そうすることで、読者もわかりやすく本を読めるし、自分が好きな本もすぐ見付けられます。

本を読んでいる時、よく頭に浮かんで來るのが「何処かでみたことがある話ですね」ということです。今の若者たちはアニメ、ゲーム、ドラマ、特撮などが好きで、脚本家もよく文学を参考として、あるいは原作を脚色して、シナリオを作ります。例えば、「源氏物

語千年紀」、「平家物語」、「不思議の海のナディア」などがあります。

私はいつか本はすでに今の私たちと遠ざっていくものと思ったが、実際のところ、本はいつも私たちの側にあります。本こそが全ての作品の源と言ってもいいでしょう。

自分の紹介と感想はこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。

1、なぜこの本を選んだのですか

この原因もさっき話した通り、自分はアニメが好きで、今のアニメは殆どファンタジーのような部分があります。漫画の「銀河鉄道 999」が「銀河鉄道の夜」を参考して作ったものです。だから、今回のイベントをきっかけに、もっと探してみたいです。

2、この本で紹介された全ての作品のなかで一番お気に入りなのはどれですか

一番好きなのはやはりアニメ化した「魔女の宅急便」ですね。原作だけでなく、監督の宮崎駿さんの手柄も大きいと言えるでしょう。友情、魔法、成長、そういうテーマはいつも人の心を打ち、今の情けない自分に前に進む勇気を与えました。

3、この本は君の日本語の勉強に何か役に立ちましたか

実を言うと、本を読むついでに知らない単語も辞書で調べ、ノートを取ります。5年間の日本語勉強を経て、一つだけ分かったことがあります。それは言語を学んでいる時、一番重要なのはやはり単語で、文法もまた単語で構成されるものです。それに、単語の数より文法のほうが少なくて、覚えるのも速いでしょう。

「幻想郵便局」感想文

浙江越秀外国语学院

日本語専攻三年

劇 詩彤

(日本語原文)

初めて「幻想郵便局」という作品に出会った時、私はその奇想天外な設定と衝撃的な展開に目を奪われました。この物語は、私たちの日常と幻想の境界線を越えて、私たちの心を深く触れるような魅力を発散していきます。

堀川アサコさんはこの物語を通じて、私たちに見えない世界を描いていきます。幻想郵便局は、人間の欲望や夢想を郵便物として受け取り、それぞれの世界に届けるという奇妙な存在です。そして、その郵便物は、人々の運命を左右し、彼らの人生を変える力を秘めているのです。この設定は、私たちの内面世界と現実世界の間の深い関係を象徴的に表現し、人々の欲望や夢想の重要性を強調していきます。

この物語は、様々な人物とその人生を描いていきます。彼らは、それぞれの欲望や夢想を抱えており、幻想郵便局を通じて、自分の運命を変えようと試みていきます。その過程で、彼らは苦悩や挫折に直面し、そして成長していきます。彼らの人生は、私たちの人生と似たような試練や挑戦を抱えており、私たちに深い共感を与えていきます。

特に、主人公の成長過程は、私に大きな衝撃を与えていました。彼は、最初は自分の欲望や夢想を追求する勇気もなく、他人の期待に従い、自分の人生を過ごしていました。しかし、幻想郵便局を通じて、彼は自分の真正の欲望や夢想を見いだし、それに向かって前進していきます。彼の成長は、私たちに自分の欲望や夢想を追求する勇気を与え、私たちの人生を変える力を与えていきます。

また、この物語は、人間関係の複雑性と重要性を描いていきます。幻想郵便局は、人々

の欲望や夢想を郵便物として受け取り、それぞれの世界に届けるという奇妙な存在です。そして、その郵便物は、人々の関係を築き、彼らの人生を変える力を秘めているのです。この物語は、人間関係の複雑性と重要性を強調し、私たちに深い洞察を与えていきます。

「幻想郵便局」は、堀川アさコさんの豊かな想像力と卓越な執筆力を結晶した作品です。この物語は、私たちに見えない世界を描いていき、私たちの心を深く触れ、私たちの人生を変える力を与えていきます。この物語は、衝撃的な展開と深い意味を含んでおり、私たちに長く語り継がれる作品として残るでしょう。私は、この物語を通じて、自分の欲望や夢想を追求する勇気を得て、自分の人生を変える力を得ました。そして、人間関係の複雑性と重要性を深く理解し、よりよい人間関係を築くことができました。この物語は、私に大きな影響を与え、私の人生を豊かに彩りました。

以上は、私の「幻想郵便局」の感想です。この物語は、衝撃的な展開と深い意味を含んでおり、誰もが愛すべき物語として残るでしょう。私は、この物語を深く愛し、誰もが誰をも深く触れるような作品として推薦します。

・本を味わい日本を知る作文コンクール活動報告

「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2024」 開催概要

浙江越秀外国语学院
図書館
(日本語原文)

中日両国の文化交流を深め、学生の異文化リテラシーを高めるため、本学図書館は「笹川杯本を味わい日本を知る作文コンクール 2024」の呼びかけに積極的に応じ、細心の注意を払ってコンクールを企画し、本格的にコンクールを推進し、本学読者の力強い支持を待った。予選会には、学内の9つの学院 32 専攻から計 71 作品の応募があり、そのうち 37 作品が 1 等賞、2 等賞、3 等賞に輝き、最優秀賞 2 作品が本選に推薦されるなど、予選会の選考作業は無事終了し、今大会の運営は次のようにまとめられた。

一、プログラムを重視し、秩序ある発展のために迅速に展開する。

2016 年に本コンクールが始まって以来、本学図書館はこのコンクールを非常に重視し、積極的に参加し、毎年恒例の読書月間プログラムに組み込んできた。2024 年 11 月、本館は本コンクールの通知を受け取り、時間がなく、任務が厳しかったが、図書館は直ちにワーキンググループを立ち上げ、学内での予選コンクールの活動プログラムを策定し、手順を洗練し、責任を実行し、予選コンクールが適時に行われるようとした。予選大会が効果的、秩序的、公平、公正に行われるようとした。

二、立体的な宣伝、正確な動員を行い、参加者の幅を広げる。

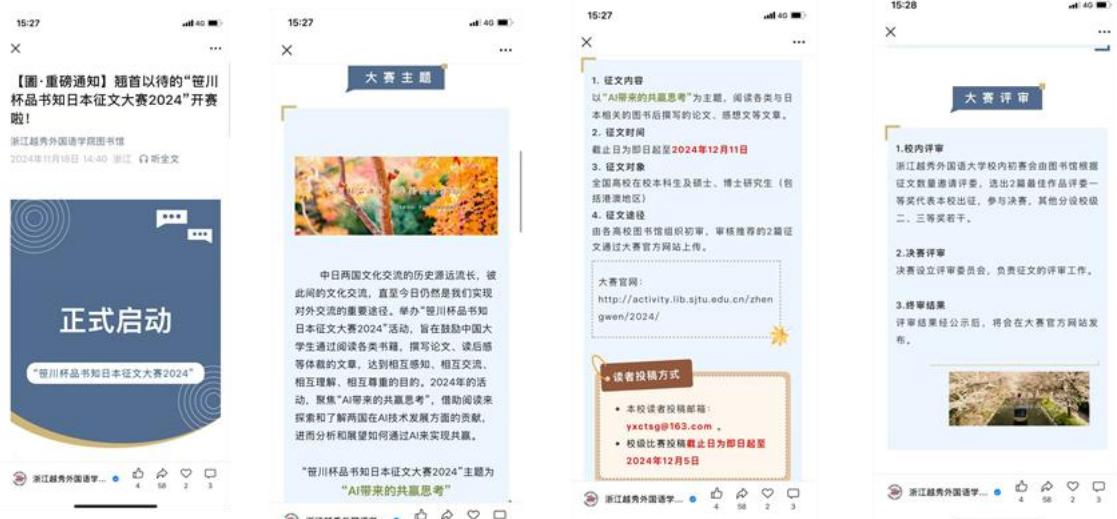
オンライン+オフラインの両面で周知活動を行った。オンラインは図書館の公式微信 (WeChat) 頼ってオンライン宣伝を行い、各分野の連絡ルートを通じて各大学に活動通知を行った。オフラインでは、図書館の学生会「読者の友」図書管理委員会は図書館を利用して「科学と文学の融合の炎に火をつける」、「伝統を未来へ」というテーマサロンを実施し、AI 図書を推薦し、図書館の図書室の発展に重要な役割を果たした。委員会は AI 図書を推薦し、同業者のオピニオンリーダーの役割を果たし、模範を示し、より多くの学生読者を動員してこの活動に参加させ、作品の投稿率を高めた。

三、専門家による評価、精選、作品の深化である。

この活動は半月しか続かなかったが、図書館はすぐにに対応し、学校中国語教授、図書館教師、図書館管理委員会の同業者からなる三者審査委員会を設置し、「三次審査+ブラインド採点」の仕組みを採用した。一次審査では書式の乱れた原稿を排除し、二次審査では「文化理解、斬新な視点、文章力」によって採点し、最終審査では総合評価を行った。候補作 71 点に対して、公正・公平・公開の読書、採点、幾重にも重なる審査を経て、合計 37 点の受賞作が評価され、賞状と賞金が授与された。専門家による「一対一」の指導を手配し、文化的解釈の深さと物語の論理性を強化することに重点を置き、最終的に大賞の個性的な作風と学問的深さを反映した 2 作品を全国決勝大会に送り出した。

参加した読者の作文は、テーマを浮き彫りにし、テーマの意味を綿密に追うことができ、基本的に文章から文章の滑らかさ、美しい言葉と文章を実現し、また、いくつかの適切な表現方法を用いて、明確なテーマと深い読書体験と感情を持ち、本校の読者の文化リテラシーの良さを反映していた。

今年の作文活動は良い結果を得ることができた。このような場を提供してくれた活動主催者に感謝し、図書館の指導者と先生方の努力に感謝し、学校の先生方と読者の皆さんの積極的な参加と支持に感謝します。



比赛启动微信发布通



读者沙龙活动预告、报道



校级初赛奖状

◆中国における活用促進活動

1. 図書寄贈式

紹興で図書寄贈式を開催（浙江越秀外国语学院）

6月1日午前、中国紹興市の浙江越秀外国语学院で、徐真華副理事長、修剛校長を始めとした同学院の責任者、教職員、学生、また本会と立教女学院の各関係者が参加して寄贈図書の贈呈式が執り行われました。



浙江越秀外国语学院責任者及び日本科学協会、立教女学院関係者

これまで本会から贈った図書は合計82,000冊を超えます。また、これらの寄贈図書の中には、本会が立教女学院から寄贈を受けた約25,000冊も含まれています。

寄贈式典では、本会の高橋会長から浙江越秀外国语学院の修剛校長に図書寄贈書がおくられ、修校長から高橋会長に受領証書がおくられました。また、今回の式典に出席していただいた立教女学院理事で同女学院同窓会会长でもある佐々義子氏からも、修校長に図書寄贈書がおくられ、修校長から佐々理事に受領証書がおくられました。



修剛校長（左）、高橋会長（右）



徐真華副理事長（左）、高橋正征会長（右）



修剛校長（左）、佐々義子理事（右）



左から李敬平図書館館長、修剛校長、徐真華副理事長、高橋正征会長、
佐々義子理事、顧文君常務理事



参加者全員記念撮影

翌日の 6 月 2 日には、立教女学院提供図書の専用図書室の見学と本会からの寄贈図書に関する読書会の参観を行いました。

この専用図書室は東方言語学院がある稽山キャンパスにあり、広さは 200 m²で、現在、同女学院からの図書約 25,000 冊が収蔵されています。

この図書室を見学した同女学院の佐々理事は、立教女学院短期大学図書館がかつての併まいもそのままに再現されているようで感慨深いとの感想を述べました。今後、残りの約 50,000 冊も、順次届く予定となっており、これらが全て収蔵されれば、立教女学院短期大学図書館がほぼ完全な形で紹興に再現されることになります。

2. 読書会

寄贈先大学と読書会や公式 SNS で寄贈図書の紹介し、寄贈図書の更なる有効活用や認知度の向上を図る。

1. 浙江越秀外国语学院での読書会

図書室見学に続き寄贈図書に関する読書会が開催されました。

この読書会は、2 チームに分かれた日本語学科学生 13 名が、個々の関心に応じて選定した図書について感じたこと、気付いたこと、考えしたことなど発表するというもので、発表後にはそれぞれ質疑応答の時間も設定していました。選定図書は、小説、エッセー、ハウツー本、日本言語学誌、絵本、アートブックなど様々なジャンルに及びました。

参観後、高橋会長は、専門分野以外の本を読んだことは非常に少ないという自身の経験に触れた上で、専門分野以外の本を日本語で読んでその感想を日本語で発表できるのは素晴らしいとして参加者たちの日本語力の高さを評価しました。

また、佐々理事は、日本語の本をよく読み、日本語で感想を述べ、日本語での質問に真摯に答えてくれたことに感謝するとした上で、今回読んだ本の前の読者が応援しているとのメッセージをおくりました。



読書会 A チーム



読書会 B チーム



読書会参加者全員記念撮影

3. SNSでオススメ寄贈図書の紹介（3大学、23回）

(1)南京大学 日本語俱楽部 4回

SNS アップ日	2024/4/17
① 書名	図解 日本刀事典
① 出版社	学研ホールディングス
①提供元	学研ホールディングス
② 書名	学研もちあるき図鑑まるごと日本の道具
②出版社	学研ホールディングス
②提供元	学研ホールディングス
③ 書名	改訂版 京都お散歩地図
③出版社	学研ホールディングス
③提供元	学研ホールディングス
④ 書名	改訂版 鎌倉お散歩地図
④出版社	学研ホールディングス
④提供元	学研ホールディングス

SNS アップ日	2024/5/26
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/FfL6fuWFPtNBUpZy79qNQ
①書名	政治家も官僚も国民に伝えようとしない増税の真実
①出版社	SBクリエイティブ
①提供元	SBクリエイティブ
② 書名	共生の「くに」を目指して
②出版社	講談社エディトリアル
②提供元	神奈川県立図書館
③ 書名	第3回藤本義一文学賞
③出版社	たる出版
③提供元	神奈川県立図書館
④ 書名	第4回藤本義一文学賞
④出版社	たる出版
④提供元	神奈川県立図書館

SNS アップ日	2024/11/13
URL	https://c.xiumi.us/board/v5/640sE/580166387?share_depth=2
①書名	江戸・東京 幕末・維新の「事件現場」
①出版社	SBクリエイティブ
①提供元	SBクリエイティブ
②書名	小池百合子 権力に憑かれた女
②出版社	光文社
②提供元	光文社
③書名	Tokyo

③出版社	光文社
③提供元	光文社
④書名	外交官のア・ラ・カルト 文化と食を巡る外交エッセイ
④出版社	かまくら春秋社
④提供元	かまくら春秋社

SNS アップ日	2024/11/13
URL	https://c.xumi.us/board/v5/640sE/580166387?share_depth=2
①書名	同時代としての戦後
①出版社	講談社
①提供元	中井書房
②書名	核の大火と「人間」の声
②出版社	岩波書店
②提供元	中井書房
③書名	小林秀雄と中原中也
③出版社	第三文明社
③提供元	中井書房
④書名	都市下層の社会史
④出版社	解放出版
④提供元	神奈川県立図書館

(2) 浙江越秀外国语学院 図書館 4回

SNS アップ日	2024/4/29
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/TyTypv9IKBMluqZ67ZNXkw
①書名	リバース
①出版社	講談社
①提供元	講談社
②書名	沈黙のエール
②出版社	講談社
②提供元	講談社
③書名	猫は知っていた
③出版社	講談社
③提供元	講談社
④書名	輝く夜
④出版社	講談社
④提供元	講談社

SNS アップ日	2024/5/20
----------	-----------

URL	https://mp.weixin.qq.com/s/dUNsI11YyZYDyKKGx0DwCg
① 書名	智恵子抄
①出版社	新潮社
①提供元	中井書房
② 書名	ミッドナイト・ジャーナル
②出版社	講談社
②提供元	講談社
③ 書名	島はぼくらと
③出版社	講談社
③提供元	講談社
④ 書名	東京の島
④出版社	光文社
④提供元	立教女学院

SNS アップ日	2024/6/17
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/dBKF-Iy0hbgBed7orkRQQg
① 書名	光と影
①出版社	文藝春秋
①提供元	立教女学院
② 書名	
②出版社	河出書房新社
②提供元	立教女学院
③書名	夜のピクニック
③出版社	新潮社
③提供元	立教女学院
④書名	号泣する準備はできていた
④出版社	新潮社
④提供元	立教女学院

SNS アップ日	2024/9/14
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/PsGb6IfAIVUf6XVFri8Ahg
① 書名	子どもたちは夜と遊ぶ（上）・（下）
①出版社	講談社
①提供元	講談社
② 出版社	再会
②提供元	講談社
③書名	講談社
③ 出版社	三月は深き紅の淵を
③提供元	講談社

③書名	講談社
④書名	麦の海に沈む果実
④出版社	講談社
④提供元	講談社

(1) 東北財経大学 図書館 3回

(2)

SNS アップ日	2024/4/30
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/gq-Dlyul0iNrxDqiIJIZTw
①書名	定年ゴジラ
①出版社	講談社
①提供元	講談社
②書名	ミスキャスト
②出版社	講談社
②提供元	講談社
③書名	駅までの道をおしえて
③出版社	講談社
③提供元	講談社
④書名	水の枢
④出版社	講談社
④提供元	講談社

SNS アップ日	2024/6/13
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/jncCeZEJ0nva6JRWMSDVJw
①書名	ガーディアン
①出版社	講談社
①提供元	講談社
②出版社	講談社
②提供元	講談社
③書名	リバース
③出版社	講談社
③提供元	講談社
④書名	沈黙のエール
④出版社	講談社
④提供元	講談社

SNS アップ日	2024/10/24
URL	https://mp.weixin.qq.com/s/hezVmJ0z1p4dVdiqONVHdw
① 書名	深い河

①出版社	講談社
①提供元	講談社
②書名	A n k : a m i r r o r i n g a p e
②出版社	講談社
②提供元	講談社
③書名	たんぽぽ
③出版社	講談社
③提供元	講談社
④書名	僕が本当に若かった頃
④出版社	集英社
④提供元	グランカフェピクチャーズ